

## 委員会意見に対する計画書への反映

	意見	計画書への反映	
		ページ	内容
	<ul style="list-style-type: none"> <li>第1回の資料（別紙2-1）を加えた方がいいのではないかな。</li> </ul>	P18	住民自治組織の市民協働の推進に向けた方向性の説明文へ加筆
チェックシートについて	<ul style="list-style-type: none"> <li>チェックリストで担い手や参加率を人数や%でカウントすると実態が拾えない場合や、分かりにくくなるのではないかな。</li> </ul>	P28, 29 P38, 39	<ul style="list-style-type: none"> <li>前回のチェック表から、「住民自治組織」と「市民活動団体」に分けて現状チェックとして掲載した。</li> <li>人数や%などで振り分けたり、具体的な数値で判別するのではなく、課題について簡単に自己診断が行え、必要な取り組みへとつながるチェックシートとした。</li> <li>それぞれ抱える課題について診断を行い、「知る」「はじめる」「深める」のステップで取り組めるシートとした。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>町内会などで簡単に使えるようなチェックリストがいいのではないかな。</li> </ul>		
	<ul style="list-style-type: none"> <li>チェック項目を精査する必要がある。</li> </ul>		
	<ul style="list-style-type: none"> <li>チェックリストで当てはまらないものがあり、答えにくいのではないかな。</li> </ul>		
	<ul style="list-style-type: none"> <li>課題とチェックの内容が整合していないのではないかな。</li> </ul>		
	<ul style="list-style-type: none"> <li>課題に基づいてチェックをする工程が必要ではないかな。</li> </ul>		
	<ul style="list-style-type: none"> <li>チェックシートで自身の団体の位置（属性）を把握できるようにしてはどうか。</li> </ul>		
	<ul style="list-style-type: none"> <li>課題を解決するために、どこからスタートするのかといったつながりが必要。</li> </ul>		
	<ul style="list-style-type: none"> <li>冊子内のチェックシートは読みやすく完結した方がいい。</li> <li>各団体の詳しい診断をするための細かなチェックシートは役割の違いを設けた方がいい。</li> </ul>	P49	<ul style="list-style-type: none"> <li>計画の展開の中で、第2期推進計画を受けてアクションプランを進める際に、各団体の現状分析ができる自己診断書の取り組みを行うよう記載した。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>各団体の事業内容や財源などを細かく自己診断できるようなチェックシートを第2期計画策定後に取組んだらどうか。</li> </ul>		
<ul style="list-style-type: none"> <li>計画策定後にはアクションプランなどで、行政の基礎データなども利用して自己判断のチェックシートと重ね合わせながら支援することを計画に入れる必要があるのではないかな。</li> </ul>			
<ul style="list-style-type: none"> <li>「心をつなげるようなイベントがあるか」を聞いてみてはどうか。</li> </ul>	P38	<ul style="list-style-type: none"> <li>現状チェックの中に、「会員はモチベーションが高く生き生きしている」や「イベント・事業の参加者は十分に集まっている」などの質問を設けた。</li> </ul>	

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・診断結果を逆にすれば、内容は一緒だが印象が違ってくるのではないか。</li> </ul>	P28, P38	<ul style="list-style-type: none"> <li>・チェックシートの質問事項を見直した。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・チェックシートから具体的事業の対象へつながりに整合性がない。</li> </ul>	P28, P30	<ul style="list-style-type: none"> <li>・具体的事業の対象について整合するよう修正した。</li> </ul>
マークについて	<ul style="list-style-type: none"> <li>・マークの大きさに統一性がなく、多すぎるので混乱する。(ステップの図)</li> </ul>	P23, P25	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大きさに統一性を持たせ、数も少なくして見やすくした。</li> <li>・P22. P24 のマークの説明は、それぞれの組織の役割についての説明を加筆・修正した。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・マークをシンプルにしたほうがいいのか。(ステップの図)</li> </ul>		
自治会加入について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・町内会に参加するとメリットがあるといったことが必要。</li> </ul>	P30, P31, P32	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自治会・町内会の加入率向上に向けた取り組み支援【新規】自治会加入促進の手引き作成、加入促進チラシ、保護者を対象とした自治会に関するパンフレットの作成など</li> <li>・新たなグループづくりに対する支援、地域リーダー育成塾の開催、まちづくり人材スキルアップ講座などで対応</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・町内会などでは、参加してもらえるような問いかけが必要。</li> </ul>		
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・必然性で人が動くので、その必然性などの共通なものが必要ではないか。また、その仕掛けが必要ではないか。</li> </ul>		
情報共有	<ul style="list-style-type: none"> <li>・情報発信というのは一方通行では意味がない。双方向での情報のやりとりや、対話が必要</li> </ul>	P16, P34	<ul style="list-style-type: none"> <li>・住民自治組織の課題に、双方向の情報伝達の項目を設け、課題として取り上げ、具体的な取り組みとしてP34の「地域プラットフォームの開催（地域別意見交換会）」で、地域課題を双方向に共有し解決方法について意見交換をする場をもうけることとした。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一方向の情報発信だけだと協働にならない。</li> </ul>		
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域が困っていること、やりたいことをどうやって把握するのが必要</li> </ul>		
元気度チェック	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「元気度」の表現は、変えるか工夫した方がいい。</li> </ul>	P28, P38	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「元気度チェック」を「現状チェック」へ変更した。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「元気度」は「現状チェック」という表現ではどうか。</li> </ul>		
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・元気がある、元気がないといったものではない。</li> </ul>		
指針の継承	<ul style="list-style-type: none"> <li>・指針に「ともに学び、共に育つ」という言葉があった。指針を継承するような計画が必要ではないか。</li> </ul>	P6, P7	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第1章の1で「協働のまちづくりとは」の説明に、「共に学び、共に育てる」の表現を盛り込み、他の表現とも併せて指針を継承していくことを表した。</li> <li>・7ページのイメージにも同じ表現で掲載し、整合性を持たせた。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学び育てるといった、人が学び、育つ取り組みが必要。</li> </ul>		

ステップ	<ul style="list-style-type: none"> <li>「知る」「はじめる」「深める」はステップを踏んで取り組みを進めるものではなかったか。</li> </ul>	P23, P25 P29, P39	<ul style="list-style-type: none"> <li>自らの位置と、取り組む事業が判別できるような表に変更した。</li> <li>表の中で、「知る」「はじめる」「深める」のステップをチェックしながら、次に進めるよう変更した。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分達がどの位置にいるのか、どのステップを踏みながら次に進むのがチェックできたらいいのではないか。</li> </ul>		
	<ul style="list-style-type: none"> <li>ステップで進む方向を明らかにして、次のステップでチェックしながら前に進めることを第2期計画で示してはどうか。そうしないと、あなたの町内会は弱っていますねで終わってしまい、その先どう進むのかという前向きな姿勢になれない。</li> </ul>		
その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>アンケート調査やヒアリング調査の結果（課題）と具体的事業の中身について確認する必要がある。</li> </ul>	P16, P17 P30～	<ul style="list-style-type: none"> <li>アンケート、ヒアリング結果からの課題と、それに対する具体的な事業の中身について確認を行い、整合するよう修正した。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>5年後、10年後の地域をどうするかという夢をもって、予防策を視野に入れた計画ができないか。</li> </ul>	P35	<ul style="list-style-type: none"> <li>町内会や地域の将来的な取組みにつながるように、人づくりとしての具体的事業として、コミュニティビジネス養成講座の開催、仕組みづくりとして、提案型公共サービス民営化事業などを取り入れた。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>高齢化している自治会のことも斟酌できるような項目や、協働で学べるような項目を加えることで、この議論が反映されるのではないか。</li> </ul>	P29, P33	<ul style="list-style-type: none"> <li>自治会間意見交換会の開催【新規】 町内会や行政が意見交換会をする車座会議を開催し、情報・課題の共有、近隣の町内会の連携を進める事業を取り入れた。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域や団体のニーズだけでなく、意識を変えていくということも行政の役割ではないかと思う。市としてどこを目指すのか</li> </ul>	P8	<ul style="list-style-type: none"> <li>アンケート結果などから市民活動や地域活動に取り組む市民、各種団体等の意識は向上しており、これには第1期の推進計画も大きな影響を与えていると考えている。</li> <li>第2期計画では第1期計画を継承・改善し、市民協働の取り組みをさらに進めることを目指すこととしている。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>市としての目標や目的、目指す姿を第1章に入れていかないといけない。</li> </ul>		
	<ul style="list-style-type: none"> <li>「市民協働のまちづくりとは『住みよいまち』をつくるための方法」とあるが、この言葉で表現を工夫してはどうか。</li> </ul>	P6	<ul style="list-style-type: none"> <li>前回の資料から全面的に見直し、前向きになるような表現や、市民の目線からの文章となるよう変更した。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>三原に住む市民が主体的に参画し、ともにづくり、ともに歩んでいく表現があってもいいのではないか。</li> </ul>		
	<ul style="list-style-type: none"> <li>一人ひとりの人生がそこにかかっているといったニュアンスがあってもいいのではないか</li> </ul>		
	<ul style="list-style-type: none"> <li>市民の目線からの協働についてのあり方を付け加えたらいいのではないか</li> </ul>		
	<ul style="list-style-type: none"> <li>市の総合計画に沿った形になっていればいいと思う。</li> </ul>	P8	<ul style="list-style-type: none"> <li>長期総合計画との関係</li> </ul>

その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自主防災組織の設立が、中核組織の中に出てきているが、自主防災はできるだけ小さな範囲で立ち上げる方向性が出ている。</li> </ul>	P22	<ul style="list-style-type: none"> <li>・前回の資料では、中核組織の活動として入れていたが、地域団体として属性（同じ目的）で組織された団体として記載した。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・まちづくり協議会などは、組織の設立というよりネットワーク（連携）することで地域活動をする地域もあるのではないか。</li> </ul>	P34	<ul style="list-style-type: none"> <li>・具体的な事業として、まちづくり協議会（仮称）活動支援制度の構築として、地域の各種団体が連携した組織が行う地域づくりとの表現とし、こうした活動に行政の支援を行うこととした。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域を支えるのに自治組織だけではなく、地域団体と連携して地域づくりを進める形になるのではないか。</li> </ul>		
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・行政からのお知らせの配布が町内会の役割に入っているのは、行政の下請機関のような印象を受ける。違う表現の方がいいのではないか。</li> </ul>	P22	<ul style="list-style-type: none"> <li>・前回の資料を見直し、町内会が本来持っている役割について記載した。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の中での福祉の地域力、豊かな暮らしをするというのは福祉そのものではないか。</li> </ul>	P6	<ul style="list-style-type: none"> <li>・P6の「協働のまちづくりとは」の中で、「つながりによる人の温かみを感じながら、安心して生活できるまちを目指す」との表記とした。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・女性会がないと自治会が機能しないとといった地域もあり、女性の役割は重要である。</li> </ul>	P31	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「新たなグループに対する支援」【新規】として、女性会などのグループが頑張っている事例をとりまとめ、他の団体や地域へ情報発信することで新たなグループづくりの基盤となる取り組みを進める。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・町内会や市民活動団体の組織以外の、女性会、子ども会、老人会などの活動が停滞してきている。そういった活動に関心が薄くなってきているのではないか。</li> </ul>		
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・女子会や趣味のサークル活動といったもので、人は人間関係、社会関係を豊かに築いており、このような第3の勢力といったものがある</li> </ul>		
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市民活動団体の役割の中に、商工会議所や青年会議所、同友会などの経済界が入っていない。地域も経済を活性化させていくということも欠かせないので、担い手の中には企業や経済団体も必要ではないか。</li> </ul>	P24, P34	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市民活動団体の役割に、各種団体、企業、学校を記載し、商工会議所、商工会、青年会議所、経済同友会などを取り入れた。また、具体的事業としては、地域内の各種団体と連携して活動の輪を広げる事業として、地域プラットフォームの開催を取り入れた。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・企業の社会貢献活動について、協働の取り組みとしていることを表すために、企業を書き加える必要があるのではないか。</li> </ul>			